

大志を育む

平成 29 年 1 2 月 19 日



(教職員向け)
教育委員会だより

No. 20

発行：北広島市教育委員会

小中一貫教育と幼保小連携の取り組みについて

小中一貫教育課 指導主事 岩田 博明

早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。各中学校区では、進行管理表に沿って小中一貫教育の取り組みを精力的に進めているところかと思えます。

市教委としては、10月と11月に市内3か所で、小中一貫教育を広く市民の皆様を紹介するパネル展を実施しました。また小中一貫教育をわかりやすく解説したリーフレットを作成し、市内全家庭に配布しました。各中学校区では「教育を語る会」や推進委員会の開催などを通して、今年度の取り組みのまとめと次年度に向けた計画づくりなど、平成30年度のスタートに向けて確実に歩みを進めています。

さて、小中一貫教育の推進や子ども達の確かな成長のためには、小中の接続だけでなく、小1プロブレムという言葉もあるように、幼保小の接続も大切な視点になります。北広島市は幼保小連携事業にも他市町村以上に力を入れておりますが、北広島市の幼保小連携事業の取り組みの一部を紹介します。



幼稚園参観研修の様子

【北広島市幼保小連携事業の取り組み紹介】

○幼保小交流会の開催

市内全幼稚園・保育園・小学校の先生が参加して、子どもたちの指導に生かすため、6月（入学後交流会）と1月（入学前交流会）の年2回交流会を開催

○小学校と幼稚園・保育園での相互参観

幼稚園・保育園の先生が小学校を、小学校の先生が幼稚園・保育園で参観研修を実施

○幼保小懇談会の開催（今年度初めて実施）

市内幼稚園・保育園・小学校の教職員・保育士が参加して、テーマに基づきグループ討議を中心とした懇談会を開催

○幼稚園・保育園保護者会への小学校教員の派遣

○園児・児童の交流会の実施



など



初めて実施した幼保小懇談会の様子

小中一貫教育と同様、幼稚園・保育園と小学校が相互理解を深めることにより、小学校入学後の子ども達一人ひとりの確かな成長と、幼保小連携を経験した子どもたちが、次代の小中一貫教育の担い手になるという期待が持てます。

東部中学校区小中一貫教育の取組

第5回目の今回は東部中学校区の取り組みを紹介します。

小学校乗り入れ授業（英語）

7月25日（火）、東部中学校の英語の先生が、東部小学校の6年生に英語の授業を行いました。1学期に習った動詞の復習を課題として、中学校の先生が主に指導を行い、小学校の担任の先生が補助をしました。

「swim」や「play」などの動詞を再確認し、先生が読みあげる英文の中で使用された動詞を聞き取り、その単語のカルタを取るというゲームや、復習をした動詞を使ったインタビュー等を行いました。

子どもたちは元気よく単語を発音したり、集中して聞き取りをしたりして、楽しそうに授業に参加していました。また、他学級の先生や同じ校区の先生方が授業を参観する姿が多数見られました。



小学生部活動体験・見学

7月27、28、31日の3日間、東部中学校区の小学生部活動体験・見学が行われました。そのうちの27日は、野球部と卓球部に小学生が見学に来ていました。北の台小で活動していた女子バレー部には、東部小と北の台小の児童と一緒に練習を行い、部活動を体験しました。

東部中の教頭先生によると、この部活動体験・見学の実施により、途中退部の生徒が減っているとのことでした。また小学校に戻ってからの体力づくりのモチベーションになればと語ってくれました。

これまでは中学校に入ってから短い期間での入部決定でしたが、このような体験により3年間部活を続けられるかじっくり考えるきっかけになるのかもしれませんが。



合同部会の開催と事務局だよりの発行

7月22日、中学校区推進会議を開催し、3校の先生方が6つの部会に分かれ、事前に用意した協議事項について、お互いの意見を出し合い、今後の取り組みを確認しました。

合同部会終了後には、事務局が各部会の話し合った内容をまとめ、事務局だよりを発行しています。事務局だよりを通じて、自分たちの部会だけでなく他の部会の話し合いの内容を知ることにより、中学校区全体の取り組み内容を把握し共通理解に役立っています。

平成29年度 東部中学校区小中一貫教育 平成29年8月21日

事務局便り 第2号

事務局：東部中学校

平成29年度 第1回合同部会開催

7月22日（土）土曜授業の午後14：00からの
台小学校を会場に、第1回目の合同部会を行いました。
15：00までの約1時間の短い会議でしたが、それぞれの部会で事前に協議事項を確認した上での話し合いということで大変した会議となりました。石野教頭から協議事項と協議事項にも参加をいただき、15：05からの部会代表者会議では、「生徒一人ひとりに確かな力をつけるための小中一貫教育であること」、「小中一貫教育は目的ではなく手段であること」等、貴重なご意見をいただきました。
各部会で話し合われた内容について、集約した記録をもとに以下のように整理しましたので、ご確認下さい。

第1回東部中学校区小中一貫教育 合同部会協議記録

①学力・体力向上部会 欠席（北の台・門田）

- 科29年度の目標について
- 相互乗り入れ授業～英語科の乗り入れ授業の成果と課題（東部中の加藤Tの発表、系統表Can-doリスト含む）
- 小学校における中学校説明会のあり方
～中学校の先生が小学校の授業を観戦
- 小一中のあり方～新入生説明会で小学校の先生が2～3年度途中にもう一度開催があること（5月）
- 教科系統表の活用～英語科におけるCan-doリスト～共通しは広範囲と協力して実施
例：広範囲専門部会後、毎学期で小中合同の研修をもつ、中学校区でも同様。
- 「家庭学習の手引」の一本化～各校目中に共有化する。
- 体育支援交流～すでに小一中の中で連携済み、年に数回の交流。小一中間の連携した取り組みとして交流している。
- 体力向上～部活動体験は途中からの参加は可能か。
理由は学習会と重なっているため。

（次回の予定）日 隔 11月 7日（東部中学校）
内 容 ・「家庭学習の手引書」について等